

地震工学会

津波等の突発大災害からの避難における諸課題に対する工学的検討手法およびその活用に関する研究委員会

第2回研究委員会 議事録

1. 日 時：2016年9月12日（月） 16：30～19：10
2. 場 所：日本大学理工学部駿河台キャンパス5号館523会議室
3. 出席者：甲斐，有川，久保，後藤，佐藤，村上（H），山本，仲村（敬称略）
4. 資 料：
 - 資料 2-1 第2回研究委員会 議事次第
 - 資料 2-2 第1回研究委員会 議事録（案）
 - 資料 2-3-1 委員会企画資料
 - 資料 2-3-2 委員会企画資料（スライド）
 - 資料 2-4-1 外部資金獲得資料1（メール）
 - 資料 2-4-2 外部資金獲得資料2（メール）
 - 資料 2-4-3 鹿島学術振興財団 2016年度研究助成申請書
 - 資料 2-4-4 鹿島学術振興財団 2016年度研究助成募集要項
 - 資料 2-5-1 文献調査について
 - 資料 2-5-2 文献リスト抜粋
 - 資料 2-6 津波避難研究部会資料 中土佐町における活動報告
5. 議事内容：
 - 5.1 第1回研究会議事録の確認
 - 「5.2 委員会の趣旨説明」に以下を追記した上で承認された。
 - ・ 前委員会の取り組みを引き継いでコミュニティを育てて活動したい。
 - ・ 委員についてはしばらく現状のままとする。
 - 5.2 委員会の研究計画，研究助成
 - (1) 甲斐委員長から前回に引き続いて委員会趣旨と，研究助成の説明があった。
 - ・ 前委員会のコミュニティを育成していきたい。
 - ・ 避難シミュレーションツールのインプットとモデル化，アウトプットについて，まずは文献調査と中土佐での避難シミュレーションを軸に活動していきたい。今後，検討対象項目を適宜加減，修正していきたい。
 - ・ 避難シミュレーションの有用性を整理，体系化し，シミュレーション文化の醸成を目標におきたい。社会心理学的な側面に目をつぶることは避けたい。
 - ・ 学会予算だけでは委員会運営，活動に十分ではないため，外部資金（鹿島学術振興財団）の獲得を検討している。
 - ・ 日本地震工学会は鹿島財団の推薦対象ではないため，土木学会に推薦を依頼したい。
 - ・ 委員会と研究助成の申請について，委員の方々に賛同するか否かの意思を表示していただき，賛同いただける場合は協力内容について回答いただきたい。

(2) 提案に対する意見やコメント

- ・ 避難シミュレーションで得られるのは合理的な解である。例えば組織行動はシミュレーションにのせやすいが、個人行動の場合は当人が合理的と思っても客観的には合理的でないのせにくい。
- ・ 避難シミュレーションの検証にはデータが大量に必要である。
- ・ ヒアリングデータには限界がある。計測データとは違う。
- ・ 社会心理学的な検討を入れても解は定まらないのではないか。
- ・ どういう前提で、何がわかれば、何ができるのかが分からないと避難シミュレーションは使えない。
- ・ 研究助成の申請にあたっては、もう少しストーリーが明確になると採用されやすいのではないか。議論を継続することが重要。学際的な要素がもっとあってよい。
- ・ 地域で必要とされる対策の検討に地区防災、行政の視点から貢献できる。

(3) 決定事項

- ・ 土木学会への締切日、申し込み方法を山本幹事が確認する。
- ・ メールにて討議を継続する。
- ・ 議事録確認の際、委員の方々に意思（賛同するか否か、賛同の場合は協力内容）を確認する。

5.3 文献調査

(1) 後藤委員から説明があった。

- ・ 避難シミュレーションは 1987 年以降から実施されているが、それぞれの論文が独立し、検討グループによって異なる。
- ・ インプットデータについての検討例は多くあるが、読みづらい部分がある。
- ・ 文系や計画系の専門家とうまく合流できれば、委員会としてよい方向にいくかもしれない。
- ・ 防災教育、訓練の具体例も多いが、テリトリー化している。
- ・ 文献調査にあたっては、システムティックに取り組んだほうがよい。分類案を作成してほしい。そのうち要旨についてはアブストラクトを利用することも考えられる。キーワードは同じ用語が用いられているケースが多く、分類には適さないかもしれない。

(2) 決定事項

- ・ 後藤委員が収集した文献を、委員全員で分担して整理する。
- ・ 後日、担当を割り振る。各委員に論文データの保存されたデータを発送する。
- ・ 入力項目は、キーワード（論文に掲載されたものではなく、論文を読んだ担当者がキーワードを選択する）と、要旨（論文に掲載されている文章をコピー&ペーストもしくは画像貼付）とする。

5.4 中土佐における活動報告

(1) 佐藤委員、有川委員から説明があった。

- ・ 7月6日に中土佐町役場を訪問し、避難シミュレーションの中間報告、避難訓練に向けた意見交換、避難訓練時の依頼事項、避難シミュレーション結果の放映について協議した。
- ・ 9月4日の避難訓練は延期となった。そのため急遽、大阪の高校生による避難実験を2班に分かれて3回実施した。中土佐役場にて、避難実験結果と速報と意見交換、建物被害の検討状況について協議した。
- ・ 避難シミュレーション動画の紹介があった。
- ・ 9月17日に自主防災会連絡協議会が発足予定であり、その記念講演会にて有川委員が講演する予定である。

- ・ 延期となった避難訓練に、アンケートを実施できるか調整する。
- ・ 建物被害を考慮した避難シミュレーションについて検討する。
- ・ ワークショップや実践型避難訓練の実施について検討する。

5.5 その他

- ・ 久保委員より、SIPの一環として取り組んでいる千葉県いすみ市で実施する避難訓練について紹介があった。そこで使用する京大・矢守先生が開発されたアプリもあわせて紹介された。
- ・ 次回委員会は、10/28（金）夕方に日大で開催する。

以上